

木名瀬くにみつ県議会レポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会 〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043(227)7411

高齢化進む県内の消防団

若者の加入促し活性化を

人々が安心して住める街づくりに力を注いでいる木名瀬訓光県議(野田市選出、1期)は6月県議会で一般質問に立ち、消防団の活性化について県の施策を聞きまし。各地の消防団では高齢化が進んでいますが、木名瀬県議は「消防団の新陳代謝が必要」として、若者の加入促進の取り組みを要望しました。このほか、高校のトイレ洋式化、柏児童相談所の第三者評価などについて、県執行部に質問しました。木名瀬県議の質疑と県執行部の答弁を紹介します。



6月定例県議会で一般質問を行う木名瀬訓光県議

6月定例県議会一般質問

木名瀬議員 災害から住民を守るためには、消防力の充実強化はもとより、より身近な地域防災力の向上が必要であり、そのためには、地域防災の要である地元住民によって構成される消防団の活性化が不可欠。一方で、消防団への若者層の新規加入が減少し続けており、消防団員の年齢層の促進が必要だ。

総務省の調査によると、県内の消防団員の平均年齢は令和3年4月時点で40.2歳と、10年前の34.8歳と比べて5.4歳上昇し、高齢化が進んでいる。災害現場等では、体力を擁する活動も少なくなることから、このまま若者層の新規加入が減少し続けると、高齢化がさらに進み、将来的には地域の消防力・防災力が著しく低下してしまうのではないかと危惧している。

若者層の新規加入の顕著な減少が、団員の高齢化の進展の要因となっていることから、若者層の消防団への加入促進を図っていく必要がある。そこでかがうが、消防団員の高齢化が進んでいることについて、県の認識はどうか。

防災危機管理部長 近年、風水害が激甚化・頻発化し、さらには、大規模地震の発生も懸念される中、地域防災力の中核を担う消防団に求められる役割は重要なものとなっています。一方、新規加入者の減少に伴い団員の高齢化が進んでおり、消防団の災害対応力を今後も維持し続けるためには、年齢構成に偏りのない組織体制を確保する必要があることから、若者を中心とした幅広い層の加入を促す取り組みが重要であると認識しています。

また、市町村と連携し、高校生に消防団活動等を紹介する「出前講座」や、大学生を対象とした啓発イベントを開催するなど、消防

団員の高齢化が進んでいることについて、県の認識はどうか。

木名瀬議員 若者層の消防団加入を促すため、県はどのように取り組んでいるのか。

木名瀬議員 若者層の消防団加入を促すため、県はどのように取り組んでいるのか。

消防団への理解促進
「出前講座」開催し
高校生に活動紹介

木名瀬議員 若者層の消防団加入を促すため、県はどのように取り組んでいるのか。

知事 会社員など、被雇用者の割合が増加する中、消防団員の確保が課題となっており、若者層の加入促進のためには、加入しやすい環境づくりと消防団活動に対する理解促進が必要です。そこで県では、特定の活動に従事する「機能別消防団員制度」や、消防団活動を支援する「学生消防団員活動認証制度」等を新たに導入するなど、若者層の加入促進に取り組む市町村に対し、消防団装備品の整備に係る補助率をかき上げ、支援を強化しているところだ。

木名瀬くにみつ・PROFILE

略歴

- 昭和41年 野田市に生まれる
- 昭和57年 野田市立北部中学校卒業
- 昭和60年 県立野田北高等学校卒業
- 平成4年 国土館大学工学部卒業
- 平成6年 木名瀬商事(株)代表取締役就任
- 平成31年 千葉県議会議員当選

現職

- 千葉県議会 健康福祉常任委員会委員長
- 千葉県青少年相談員連絡協議会顧問

●県政や野田市のまちづくりについて、気軽にご相談ください

木名瀬くにみつ 県議事務所
〒278-0042 野田市吉青836
TEL.04-7125-1950
FAX.04-7124-5399

県立高校のトイレ

遅れ目立つ洋式化

木名瀬議員 近年、生活様式の変化に伴い、学校以外の場所でも洋式トイレを見ることが少なくなった。学校は多くの生徒が一日の大半を過ごす学習・生活の場であり、トイレを快適に利用できることは、生徒にとってとても大事なことであ

小学校・中学校でトイレの洋式化が進められているが、県立高校ではトイレの洋式化が進んでいないように思う。県によると県立高校のトイレの洋式化率は、令和4年3月末現在で約30%とのことだ。

高校のトイレの洋式化は急ぐべきと考える。そこがかがうが、県立高校のトイレ洋式化を今後どのように進めていくのか。

教育長 県教育委員会は、これまで、普通教室棟の各階のトイレと体育館のトイレについて、少なくとも男女1か所ずつは洋式トイレとするよう整備を進めてきたところであり、昨年度までに全校の整備が完了しました。

室棟などのトイレを大規模改修に先行して全面改修する「トイレ先行改修」の実施設計に7校で着手いたします。

児童相談所 入所定員超過など 第三者評価で指摘

木名瀬議員 昨年度実施した、野田市を管轄する児童相談所の第三者評価の結果はどうか。

健康福祉部長 柏児童相談所では、昨年度、一時保護所について、「子ども本位の養育・支援が出来ているか、

きながら、残る用地の取得に努めるとともに、野田市、東武鉄道と連携して、事業を推進してまいります。

「一時保護の環境及び体制整備はどうか」等の5つの視点から64項目について第三者評価が実施されました。評価された取り組みとして、

要望 木名瀬議員 小中学校の洋式化が先行して進められていることを踏まえ、今後、和式トイレを知らない高校生がさらに増えていくことが想定されます。できる限り早期に県立高校のトイレの洋式化を進めていただくようお願いいたします。

子ども安全管理に係る仕組みづくりを行っていることなどであり、5つの視点において概ね適切に実施されているとの講評を受けました。

一方、改善の取り組みが必要とされた主な項目として、入所定員の超過や職員勤務態を踏まえた職員配置の適正化、子どもの在籍校と連携した学習環境の整備等について指摘を受けました。

業務改善や質の向上要望

木名瀬議員 第三者評価の結果について、県はどのように受け止めているのか。

健康福祉部長 柏児童相談所では、第三者評価の結果について、「職員が子どもの意見表明権の重要性について再認識し、考える契機となった」季節の行事や自由帳を活用した意見交換、週1回の個人面談など、職員の創意工夫から生まれた取り組みなどが評価され、意欲向上につながったと受け止めています。

交通渋滞緩和へ 早期の着工要望

木名瀬議員 都市計画道路今上木野崎線の進捗状況はどうか。

県土整備部長 今上木野崎線では、東武野田線梅郷駅周辺の交通渋滞の緩和を図るため、野田市中心部から国道16号までの0.7キロメートル区間で、東武野田線との立体交差を含むバイパス整備を進めています。

境戸線公営整備 令和5年度の全線供用目標

木名瀬議員 県道境戸線バイパスの進捗状況はどうか。

県土整備部長 県道境戸線では、交通混雑の緩和と歩行者の安全確保を目的に、境大橋から関宿橋までの2.3キロメートル区間について、バイパス整備や現道拡幅を行っています。

はま工業団地隣接 産業用地整備へ協議会を設立

木名瀬議員 野田市関宿はま工業団地に隣接した産業用地整備について、県はどのように支援していくのか。

商工労働部長 野田市では、関宿はま工業団地の北側において、産業用地整備を計画し、令和8年度の

現在、用地の取得率は約7割となっており、鉄道との立体交差の設計に向け、東武鉄道と協議を行っているところです。

現在、関宿橋側1.9キロメートルのバイパス区間を優先して整備しており、これまでに1.1キロメートルを供用し、残る0.8キロメートルの整備を進めています。バイパス区間の用地取得率は99%で、令和5年度の供用を目指し、今年度は盛土工事を完了させ、順次舗装工事を進める予定です。

今後、野田橋周辺の交通の円滑化に向けて、埼玉県と連携しながら、検討を進めてまいります。

着工を目指しています。これまで地権者説明会の開催や事業手法の検討等を実施しており、今年度は土地地区画整理事業での整備を前提として、まちづくり協議会の設立を予定しています。県では、昨年度、市が行う土地利用計画書の作成や民間開発事業者への意向調査に対して補助金を交付したところです。

消防団員の高齢化について質問する木名瀬議員



今上木野崎線バイパス